

平成 22年 5月 25日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006～2009
 課題番号：18530555
 研究課題名（和文）動作法訓練における障害を持つ子どもの社会相互作用と心身面の発達援助
 研究課題名（英文）Developmental support to children with disabilities on social interaction and psycho-physical aspects through Dousa-hou training method
 研究代表者
 Surender Kumar（スレンダー・クマール）
 筑紫女学園大学短期大学部・幼児教育科・教授
 研究者番号：00331900

研究成果の概要（和文）：長期4年間の動作法訓練における障害を持つ子どもの社会相互作用と心身面の発達援助の成果

研究成果の概要（英文）：Long term training effects of psycho rehabilitation technique for the children with disabilities: A cross cultural study

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,810,000	0	1,810,000
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	700,000	210,000	910,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
年度	—	—	—
総計	4,010,000	660,000	4,670,000

研究分野：心理学（社会心理学、教育心理学、臨床心理学）

科研費の分科・細目：社会的相互作用・対人関係、発達障害、心理療法、心理リハビリテーション

キーワード：Dousa-hou, Social Interaction, Disability, Development

1. 研究開始当初の背景

4年間で、ニューデリーのマザー・テレサ・ジーワン・ジョティ障害孤児施設、太宰府地域、Kota Kinabalu MalaysiaのSerimengasih施設の重度の脳性麻痺、自閉症、情緒障害、ダウン症、知的障害を持つ子ども45名に動作訓練による心身面の発達援助及び社会相互作用の援助の研究を行った。

2. 研究の目的

長期間の動作法訓練によって、障害を持つ子どもが自分の行動に気づき、体をよりよく自由に動かすことができ、自ら他の子どもに声かけて集団行動が達成する。

3. 研究の方法

18年度～21年度臨床心理学の心理リハビリテーションの一週間キャンプを行った。それぞれのところでトレーナー、トレーニーと保護者の社会相互作用と心身面の変化についてのデータを収集した。知的障がい、脳性麻痺、自閉症、運動障がいを持つ子どもがインドのキャンプで計18名とマレーシアでは21名の参加だった。18年度～21年度に知的障がい、自閉症、脳性麻痺を持つ子ども9名に毎週土曜日大宰府の総合福祉センターで研究用の1日動作法訓練を継続的に行い、長期間の訓練効果を測定するため研究データを収集した。

(2) 研究分担者 ()

研究者番号：

(3) 連携研究者 なし ()

研究者番号：

4. 研究成果

長期間の動作法訓練によって、障害を持つ子どもが自分の行動に気づき、体をよりよく自由に動かすことができ、自ら他の子どもに声かけして集団行動が達成した。具体的には、保護者は自分の子どもの心身面の発達を援助することにサポートを感じ、健康管理にも効果的であった。一週間のキャンプを年1回にして継続で4年間に平均3.6回参加した子どもには体の自由動き、自発的に課題参加、行動コントロール、ことばを使ったコミュニケーション、社会相互作用に多く；情動表現には少ない効果が現れた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

① Surender Kumar, Kim, Y. S., Ou, K. S. Long term training effects of psycho rehabilitation technique for the children with disabilities: A cross cultural study. *Journal of the Humanities Research Institute Chikushi Jogakuen University and Junior College*, 査読無, 19, 2009, 45-56.

[学会発表] (計1件)

① Surender Kumar. Long term training effect of the psych rehabilitation method for the children with disabilities. *International Seminar on Social Rehabilitation*, 2009年9月2日, Gwangju, Korea.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

Surender Kumar (スレンダー・クマール)

筑紫女学園大学短期大学部・幼児教育科・教授

研究者番号：00331900